別　紙

「研究業績目録」作成要領

　研究業績は、Ａ４判の用紙にＡ.著書・訳書、Ｂ.学位論文、Ｃ.総説・論説、Ｄ.原著論文 (a)学術雑誌＊１、(b)紀要＊２、(c)プロシーディングス、Ｅ．その他＊３、Ｆ．報告書・事業報告書等＊４、Ｇ．特許・設計等、Ｈ．国際学会発表＊５、Ｉ．国内学会発表＊６、Ｊ．受賞歴（学会賞など）、Ｋ. 外部資金獲得状況（科研費など）の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、Ｃ．原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約３ｃｍに設定し、１行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

　＊１：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

　＊２：試験場報告、研究所報告等を含む。

　＊３：商業雑誌、資料等を記載する。

　＊４：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

　＊５：最近５ヵ年について記載する。（教授選考の場合、Ｉ．国内学会発表は不要）

　＊６：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者

とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし

論文にその記載がある場合に限る。

＊７：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

　　　　　１．Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

　＊８：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

　＊９：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。

　＊10：Journalは略記する。

　＊11：発行は発表予定として記載可能なのはin pressか acceptedのみとする 。

〈記載例〉

　　　研　　　究　　　業　　　績　　　（著書・学術論文等）

Ａ．著書・訳書

１．岩手一郎（単著）（1990）

農学について．○○出版社，東京，100p．

２．岩手一郎（分担執筆）（1991）

北上山地における畜産業，「岩手の農業」（大学太郎，学部一郎編），△△堂，盛岡，pp.10-20.

３．岩手一郎（分担翻訳）（1992）

トウモロコシ，「アメリカの農業」（A.B.Carter著，大学太郎監訳），◇◇社，東京，

pp.20-30.

４．Iwate, I. and Morioka, J. （分担執筆）（1993）

Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences”(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

Ｂ．学位論文

１．岩手一郎（1980）

ＸＹＺに関する研究．［◇◇学修士または修士（◇◇学）　○○大学］

２．岩手一郎（1983）

ＡＢＣに関する研究．［◇◇学博士または博士（◇◇学）　○○大学］

Ｃ．総説・論説

１．岩手一郎（1994）

岩手における野生動物の分布．岩手の自然　№3：1-5.

２．岩手一郎，盛岡次郎（1995）

岩手山の植物分布．岩手植物誌　**15**：215-220.

Ｄ．原著論文

（ａ）学術雑誌

１．岩手一郎（1985）

岩手の野生動物に関する研究．日動学誌　**5**：15-20.

２．Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. （1986）

Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. **20**：100-105.

３．Iwate, I. （1990）

Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix* *japonica*). Jpn. Avian Physiol. **25**：15-20.

（ｂ）紀要

１．岩手一郎（1985）

トウホクヤマネズミの生態について．岩手大農報　**17**：30-40.

（ｃ）プロシーディングス

１．Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N.（1995）

Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

Ｅ．その他

１．盛岡次郎，岩手一郎（1990）

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査．野生動物　№125：pp.35-45.

Ｆ．報告書・事業報告書等

１．盛岡次郎，岩手一郎（1993）

イヌワシのＰＣＢ汚染．自然動物調査報告（△△県）, pp.10-11.

Ｇ．特許・設計等

１．盛岡次郎，岩手一郎（1993）

イヌワシ捕獲装置　特許第　1234567号

Ｈ．国際学会発表（最近５か年）

１．Morioka, J. and Iwate, I. （1996）

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

Ｉ．国内学会発表（最近５か年）

１．岩手一郎，盛岡次郎（1997）

岩手の野生動物．第100回日本野生動物学会講演要旨：25-26.

Ｊ．受賞歴（学会賞など）

　１．岩手一郎（2016）

第15回日本農学進歩賞「受賞タイトル等」

Ｋ. 外部資金獲得状況（科研費など）

　１．岩手一郎（2012～2015年度）

科学研究費助成事業（特別研究員奨励費）「採択研究題目等」